

# 科目区分：総合科学科目

授業科目名	暮らしと地球環境学					学期	曜日	校時
英語名	Human Life and Environmental Problems							
担当 教員名	後藤 恵之輔	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	水曜日	4校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>この地球には、人間のみならず多くの生物、植物他が生息しており、互いに影響しあって生存している。その地球が今、危機に瀕している。温暖化、オゾン層の破壊、砂漠化等の地球環境問題によってである。しかし、地球はこのような地球規模のものだけでなく、ごみ問題等の地域の環境問題によっても次第に汚染されてきている。本授業では、これら環境問題を地域かつ地球規模で学び、暮らしの中でどう対処していけばいいのかを考えたい。</p>								
テキスト、教材等								
<p>テキスト：「生態系読本～暮らしと緑の環境学」(社)地盤工学会 このテキストとともに、配布資料、スライド、OHP、ビデオを使って、多角的に授業を進めていく。</p>								
対象学生	成績評価の方法					教員研究室		
全学部	毎回の小レポートによる。							
授業計画								
<p>下記のA群とB群の項目を適宜組み合わせ、計14回の授業を行う。</p> <p>&lt;A群&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A-1 地球温暖化</li> <li>A-2 酸性雨</li> <li>A-3 熱帯雨林の減少</li> <li>A-4 砂漠化</li> <li>A-5 オゾン層の破壊</li> <li>A-6 野生生物種の減少</li> <li>A-7 海洋汚染、大気汚染、水質汚染、地盤・地下水汚染</li> <li>A-8 人口問題、都市問題</li> <li>A-9 ごみ問題とリサイクル</li> <li>A-10 自然環境の保全・復元・創造</li> </ul> <p>&lt;B群&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B-1 土壌と植生</li> <li>B-2 地盤環境と生態系</li> <li>B-3 生態系に配慮した手法・工法</li> <li>B-4 都市環境の保全</li> <li>B-5 田園環境の保全</li> <li>B-6 ビオトープとミティゲーション</li> <li>B-7 環境調査と評価</li> </ul> <p>連絡方法    メールアドレス：<a href="mailto:gotoh@civil.nagasaki-u.ac.jp">gotoh@civil.nagasaki-u.ac.jp</a></p>								